

天児 慧 履歴



天児 慧教授近影

1. 生年月日：1947 年 7 月 17 日（岡山県）

2. 現 職：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

早稲田大学国際学術院教授

早稲田大学現代中国研究所所長

社会学博士（一橋大学）

TEL: 03-5286-1874（研究室） 03-5286-3877（事務室）

FAX: 03-5272-4533

E-mail: amako@waseda.jp

3. 学歴

1966 年 3 月 岡山県立津山高等学校卒業

1967 年 4 月 早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修入学

1971 年 3 月 早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業

1972 年 4 月 東京都立大学大学院社会科学研究科政治学専攻修士課程入学

1974 年 3 月 東京都立大学大学院社会科学研究科政治学専攻修士課程修了（法学修士）

1975 年 4 月 一橋大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程入学

1981 年 3 月 一橋大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了

1986 年 3 月 社会学博士号受領

4. 職歴

1981 年 4 月 日本学術振興会奨励研究員に就任

1981 年 10 月 琉球大学短期大学部専任講師に就任

1982 年 4 月 琉球大学短期大学部助教授に就任

1986 年 2 月 外務省在外公館専門調査員として 2 年間に中国日本国大使館に勤務（琉球大学短期大学助教授と兼務）

1990 年 4 月 共立女子大学国際文化学部助教授に就任

1993 年 4 月 共立女子大学国際文化学部教授に就任

1994 年 4 月 青山学院大学国際政治経済学部教授に就任（～2002 年 3 月）

1999 年 4 月 アメリカン大学客員教授としてワシントン D.C. に滞在（～同年 9 月）

2002 年 4 月 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授に就任（現在に至る）

2006 年 10 月 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科長兼アジア太平洋研究センター所長（～2008

年9月)

- 2007年10月 早稲田大学グローバルCOE「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点」拠点リーダー(～2012年3月)
- 2008年4月 早稲田大学研究プロジェクト「アジア・ヒューマン・コミュニティ(AHC)」研究所所長(～2010年3月)
- 2009年9～10月 カナダ・ブリティッシュコロンビア大学アジア研究所に客員教授として滞在
- 2010年2月 オーストラリア国立大学アジア太平洋学部に客員教授として滞在
- 2016年9月 東京大学大学院総合文化研究科客員教授(～現在に至る)

5. 社会活動

- 1996年4月～1999年3月 文部省科学研究費学術・国際共同部門審査委員
- 1999年9月～2000年3月 地球産業文化研究所「アジアの総合的展望」プロジェクト委員長
- 2000年9月～2002年3月 文部省学位授与機構審査委員
- 2002年4月～2012年3月 文部科学省教科書検定臨時審査委員
- 2003年10月～2007年3月 朝日新聞アジアネットワーク社外委員
- 2008年4月～2010年3月 朝日新聞書評委員
- 2009年4月～現在 福岡市アジア文化賞学術部門選考委員
- 2010年4月～2012年3月 人間文化研究機構地域研究推進事業「第1期現代中国地域研究」プログラム代表幹事
- 2012年4月～2017年3月 人間文化研究機構地域研究推進事業「第2期現代中国地域研究」プログラム拠点統括代表

6. 学会活動

- 1989年～1997年 日本現代中国学会理事
- 1989年～2005年 (財)アジア政経学会理事(兼編集担当～1993年)
- 1993年～2005年 (財)アジア政経学会常務理事(兼総務担当理事～1995年)
- 1997年～2005年 (財)アジア政経学会常務理事(兼研究担当理事～1999年)
- 1999年～2001年 (財)アジア政経学会理事長
- 1998年～2004年 (財)日本国際政治学会理事・運営委員・企画研究委员会主任
- 2006年～2007年 (財)アジア政経学会評議員
- 2017年～現在 (財)アジア政経学会評議員選定委員

7. 受賞

- 1989年11月 第1回アジア太平洋賞特別賞受賞(主催:毎日新聞社, アジア調査会)

主 要 業 績

1. 単 著

- 2018 年 1 月 『中国政治の社会態制』 岩波書店
- 2016 年 11 月 『巨龍の胎動—毛澤東, 鄧小平與中華人民共和國』 台灣商務出版社
- 2015 年 9 月 『中国共産党論—習近平の野望と民主化のシナリオ』 NHK 出版
- 2013 年 8 月 『新版 中華人民共和国史』 岩波書店
- 2013 年 6 月 『日中対立—習近平政權をどうよむか』 筑摩書房
- 2013 年 3 月 *The Age of Asia Pacific Community: A design for theory and human resource development*, EDUCA, Tokyo
- 2010 年 6 月 『アジア連合への道——理論と人材育成の構想』 筑摩書房
- 2009 年 4 月 『日本再生の戦略』 講談社現代新書
- 2006 年 10 月 『中国・アジア・日本—大国化する「巨龍」は脅威か』 筑摩書房
- 2006 年 10 月 『日本人眼里的中国』 中国社会科学文献出版社
- 2004 年 11 月 『巨龍の胎動—毛沢東 vs. 鄧小平』 (『中国の歴史』 第 11 巻) 講談社
- 2003 年 10 月 『中国とどう付き合うか』 日本放送出版協会
- 2003 年 1 月 『等身大の中国』 勁草書房
- 1999 年 12 月 『中華人民共和国史』 岩波書店
- 1998 年 4 月 『現代中国—移行期の政治社会』 東京大学出版会
- 1996 年 3 月 『鄧小平—「富強中国」への模索』 (『現代アジアの肖像 4』) 岩波書店
- 1995 年 3 月 『日本の国際主義—20 世紀史への問い』 (国際関係シリーズ 10) 国際書院
- 1994 年 7 月 『中國—蛻變中的社會主義大國』 (東亞國家與社會 2) 台湾月旦出版社
- 1992 年 10 月 『中国—溶変する社会主義大國』 (『東アジアの国家と社会』 第 1 巻) 東京大学出版会
- 1992 年 9 月 『歴史としての鄧小平時代』 東方書店
- 1990 年 2 月 『中国近代化の調査記録』 研文出版
- 1989 年 10 月 『彷徨する中国』 朝日新聞社
- 1988 年 9 月 『中国改革最前線—鄧小平政治のゆくえ』 岩波書店
- 1984 年 9 月 『中国革命と基層幹部—内戦期の政治動態』 研文出版
- 1984 年 3 月 『現代中国政治変動論序説—新中国成立前後の政治過程』 (現代中国研究叢書 21) アジア政経学会

2. 共 著

- 2015 年 4 月 『外交と国際秩序 超大国・中国のゆくえ 2』 青山瑠妙と共著 東京大学出版会
- 1990 年 9 月 『中国大陸をゆく—近代化の素顔』 加藤千洋との共著 岩波書店

3. 編 著

- 2016 年 1 月 『構建健全の中日関係一面向历史转折期的思考』 中国社会科学文献出版社
- 2013 年 3 月 『日中歴史の変わり目を展望する一日中関係再考』 勁草書房
- 2011 年～13 年 『アジア地域統合講座』（全 12 巻，グローバル COE 研究成果出版）編集代表
- 2011 年 11 月 『アジアの非伝統的安全保障 I 総合編』，『アジアの非伝統的安全保障 II 中国編』
勁草書房
- 2000 年 4 月 『現代中国の構造変動 4 政治—中央と地方の構図』 東京大学出版会
- 1998 年 3 月 『アジアの 21 世紀—歴史的転換の位相』 紀伊國屋書店
- 1997 年 6 月 『中国は脅威か』 勁草書房
- 1997 年 3 月 『中国の 21 世紀』 東洋経済新報社

4. 共編著

- 2016 年 9 月 『東アジア和解への道—歴史問題から地域安全保障へ』 李鍾元との共編 岩波書店
- 2015 年 3 月 『中国の都市化—拡張，不安定と管理メカニズム』 任哲との共編 アジア経済研究所
- 2013 年 3 月 『アジア地域統合学 総説と資料』 松岡俊二・平川幸子・堀内賢志との共編 勁草書房
- 2013 年 *Regional integration in East Asia: theoretical and historical perspectives*, edited by Satoshi Amako, Shunji Matsuoka and Kenji Horiuchi, United Nations University Press
- 2010 年 6 月 『膨張する中国の対外関係—パックスシニカと周辺国』 三船恵美との共編 勁草書房
- 2008 年 7 月 『世界政治叢書 8 中国・台湾』 浅野亮との共編 ミネルヴァ書房
- 2007 年 6 月 『東アジア共同体の構築 1 新たな地域形成』 山本武彦との共編 岩波書店
- 2000 年 9 月 『深層の中国社会—農村と地方の構造的変動』 菱田雅晴との共編著 勁草書房
- 2000 年 4 月 『アクセス国際関係論』 押村高・河野勝との共編 日本経済評論社
- 1999 年 5 月 『岩波現代中国事典』 岩波書店
- 1998 年 12 月 『日中交流の四半世紀』 園田茂人との共編著 東洋経済新報社
- 1994 年 10 月 『原典中国現代史第 2 巻（政治下）』 岡部達味との共編 岩波書店
- 1994 年 3 月 『20 世紀の中国—政治変動と国際契機』 宇野重昭との共編 東京大学出版会

5. 書籍所収論文

- 2017 年 3 月 「中国と非伝統的安全保障の役割」 羽場久美子編『アジアの地域統合を考える—戦争をさけるために』 明石書店
- 2014 年 11 月 「東亞非傳統安全保障與區域秩序」 謝政論・高橋伸夫・黃英哲編『東亞地區的合作與和平』 東吳大學前衛出版社
- 2014 年 7 月 「売国奴からのメッセージ」 岩下明裕編『領土という病：国境ナショナリズムへの処方箋』 北海道大学出版会

- 2005 年 11 月 「ナショナリズム，リージョナリズム，グローバリズム—日本のナショナリズムの歴史的考察を中心に」 韓国・東洋政治思想学会編『東亜細亜 3 国の自己認識，共同認識』
- 2004 年 3 月 「中国とどうつきあうか」 松下政経塾編『松下政経塾・国際政治講座』 PHP 研究所
- 2000 年 2 月 「政治体制の構造的変容」 毛里和子編『現代中国の構造変動 1 大国中国への視座』 東京大学出版会
- 1995 年 11 月 「中国における自立と統合の政治構図」 岡部達味編『グレート・チャイナの政治変容』 勁草書房
- 1995 年 11 月 「冷戦後のアジアと新国際秩序」 伊藤文雄編『21 世紀の中国—共生の時代の未来像』 サイマル出版会
- 1994 年 11 月 「中国における中央と地方」 萩原宜之編『民主化と経済発展』 東京大学出版会
- 1992 年 1 月 「アジア重視外交に転ずる中国」 渡辺利夫編『北東アジアの新動態—NIES が中国を変える』 日本貿易振興会
- 1991 年 3 月 「構造的変動を始めた政治社会」 岡部達味・毛里和子編『現代中国論 2 改革・開放時代の中国』 日本国際問題研究所
- 1989 年 9 月 「中国革命」 菊池昌典編『社会主義と現代世界 1 社会主義革命』 山川出版
- 1983 年 12 月 「中国の新聞報道と対外政策」 岡部達味編『国際研究叢書 31 中国外交—政策決定の構造』 日本国際問題研究所

6. 訳 書

- 1993 年 4 月 ハリソン・E・ソールズベリー著 天児慧監訳『ニュー・エンペラー 毛沢東と鄧小平の中国』 福武書店

7. 共訳書

- 2007 年 3 月 王逸舟著 天児慧・青山瑠妙編訳『中国外交の新思考』 東京大学出版会

8. 論文等

- 2017 年 7 月 「地域研究方法と現代中国研究」『国外社会科学』 中国社会科学院信息情报研究会 2017 年第 4 期
- 2017 年 1 月 Methods for area studies and contemporary China study, *Journal of Contemporary East Asia Studies*, Vol. 6 no. 1.
- 2016 年 1 月 「膨張する中国，変わるアジア太平洋の政治経済構図，そして台湾」『海外事情』 第 64 巻 1 号
- 2015 年 5 月 「中国 21 世紀的国际秩序観」『国外理論動態』 中央编译局 2015 年第 5 期
- 2014 年 10 月 China's Diplomatic Philosophy and View of the International Order in the 21st Century, *The Journal of Contemporary China Studies*, Vol. 3 Number 2.
- 2014 年 9 月 「日中関係打開の道はあるのか：今秋以降の日中関係の展望」『調査情報』 No. 520

- 2014 年 4 月 「日中関係の前途—習近平政権の対外戦略から見る」『東亜』 No. 562
- 2014 年 3 月 「中国習近平政権の対外戦略と日本」『国際比較政治研究』第 23 号
- 2014 年 1 月 「日中の外交態様の相違と中国の外交行動」『アジア研究』第 60 巻 1 号
- 2013 年 1 月 「習近平体制：20 年後への正念場：中国は『中所得国の罟』を回避できるか」『外交』Vol. 17
- 2012 年 12 月 「新指導者のもとでの中国政治動向（第 18 回中国共産党大会後の中国）」『日中経協ジャーナル』12 年 12 月号
- 2012 年 9 月 「習近平時代の日中関係をどう考えるか」『調査情報』No. 508
- 2012 年 7 月 China, the Emerging Superpower and Drifting Sino-Japanese Relations, *The Journal of Contemporary China Studies*, Vol. 1 Number 1.
- 2012 年 4 月 「日本と中国、東アジアの今後」『New energy』176 号
- 2011 年 10 月 「転換期に入った国際社会と新たな日中関係の再構築」『日経研月報』400 号
- 2011 年 7 月 「アジア太平洋国際関係の新段階と地域統合の新機軸を求めて」『問題と研究』40 巻 3 号
- 2011 年 1 月 「日中関係の陥穽と今後の展望」『調査情報』No. 498
- 2010 年 9 月 「歴史的な大転換への前夜にあった 70 年代の中国」『調査情報』No. 496
- 2010 年 7 月 「東アジア共同体の展望」『都市問題』第 101 巻 7 号
- 2010 年 4 月 China as a 'Great Power' and East Asian integration *EAST ASIA FORUM*
- 2008 年 6 月 「亜洲的民族主義と区域主義—全球化背景下的相克与超克」『世界経済と政治』中国社会科学院・世界経済と政治研究所
- 2008 年 5 月 「第 11 期全国人民代表大会 第 1 回会議に見る中国政局 責任ある尊敬される大国への道」『日中経協ジャーナル』08 年 5 月号
- 2008 年 2 月 「中国の政治動向と国家戦略」『海外事情』第 56 巻 2 号
- 2007 年 9 月 「台頭する中国をどう読むか」『問題と研究』36 巻 5 号
- 2006 年 9 月 「最近の東アジアをめぐる国際構造と中国・台湾」『問題と研究』35 巻 5 号
- 2006 年 4 月 「包括的・戦略的に展開する胡錦濤外交（日・米・中の対外政権と展望）」『国際問題』No. 550
- 2005 年 11 月 「相互信頼に基づく安定した日中関係をいかに構築するか」『東亜』No. 461
- 2005 年 3 月 「行き詰まる日中関係をどう打開するか」『東亜』No. 453
- 2005 年 1 月 「新国際秩序構想と東アジア共同体論—中国の視点と日本の役割」『国際問題』No. 538
- 2004 年 11 月 「東アジア共同体狂騒曲の中の新たな日中関係」『東方』285 号
- 2004 年 2 月 「21 世紀中日関係と日本の展望—超越感情論建立創造性的な中日関係」『戦略と管理』中国戦略と管理研究会
- 2003 年 12 月 「対日感情悪化問題を再考する」『東亜』No. 438
- 2003 年 6 月 「溶変する中国の一元体制—半世紀後には共産党指導下で複数政党も」『朝日総研リポート』No. 162

- 2003 年 1 月 「中国新指導体制の国家戦略と日本」『中国研究月報』659 号
- 2002 年 12 月 「第 16 回共産党大会と日中の東アジア地域協力」『国際情勢』No. 73
- 2002 年 8 月 「新段階を迎えた日中関係の座標軸」『中国研究月報』654 号
- 2002 年 2 月 「台湾総選挙の結果と台湾を巡る諸問題」『問題と研究』31 巻 5 号
- 2002 年 1 月 「中国共産党支配の持続と変容」『国際問題』No. 502
- 2001 年 7 月 「台湾問題の新段階と米中関係」『国際情勢』No. 72
- 2001 年 4 月 「二十一世紀最初の十年の中国」『東亜』No. 406
- 2001 年 1 月 「日中関係二十一世紀への提言—感情論と戦略論の狭間」『中国 21』Vol. 10
- 2000 年 11 月 「日本からみた台湾問題と転換期の日台関係」『国際問題』No. 488
- 2000 年 9 月 「信頼醸成措置と ASEAN 地域フォーラム：理論的・経験的検証」『青山国際政経論集』第 51 号
- 2000 年 7 月 「東アジア国際政治史（6）日中国交正常化以後」『国際問題』No. 484
- 1999 年 6 月 「台湾問題をめぐる米中関係」『日中経協ジャーナル』99 年 6 月号
- 1999 年 5 月 「新たな段階を迎える中国外交：その歴史と展望」『青山国際政経論集』第 46 号
- 1998 年 3 月 「江沢民体制の行方—中国共産党大会 15 回大会以降の内外動向」『海外投資研究所報』24(3)
- 1997 年 9 月 「鄧小平後の中国の光と影」『国際協力』509 号
- 1997 年 3 月 「中国政治動向—ポスト鄧小平時代の幕開け」『資本市場』139 号
- 1997 年 2 月 「鄧小平の死から—以後を読む」『中国研究月報』588 号
- 1997 年 2 月 「国交正常化以後の米中関係」『海外投資研究所報』23(2)
- 1997 年 1 月 「江沢民指導体制と中国政治安定の試金石としての 1997 年」『国際問題』No. 442
- 1996 年 6 月 「アジア太平洋の地域安定と日中関係」『調査研究報告』45 号
- 1995 年 4 月 「今年の全国人民代表大会を振り返る」『中国研究月報』566 号
- 1993 年 4 月 「南方中国・ヴェトナムとグレイター香港」『中国研究月報』542 号
- 1993 年 3 月 「歴史的転換期におけるアジアと日本」『調査研究報告』38 号
- 1993 年 2 月 「ポスト冷戦の東アジアと日中関係のアプローチ」『季刊中国研究』26 号
- 1992 年 6 月 「再加速化する改革・開放の背景と意味」『中国研究月報』532 号
- 1992 年 5 月 「中国と周辺に関する問題点」『季刊中国研究』23 号
- 1992 年 1 月 「中国と近隣諸国関係—善隣友好への傾斜の背景と現実」『国際問題』No. 382
- 1991 年 10 月 「脱冷戦体制と中国の行方」『中国研究月報』524 号
- 1991 年 8 月 「中国を変える地域主義の胎動」『知識』117 号
- 1990 年 8 月 「台湾初紀行」『中国研究月報』510 号
- 1990 年 1 月 「天安門事件再検証—その政治動態の分析」『国際問題』No. 358
- 1990 年 7 月 「アジアの経済発展と民主化：中国」『アジア研究』第 36 巻 3 号
- 1989 年 10 月 「現代中国政治へのアプローチ」『中国研究月報』500 号
- 1989 年 7 月 「中国学生・市民運動への 4 つの問い」『現代の理論』26(7)
- 1989 年 3 月 「北京で見た日中関係の現状と展望—相互理解を深めるために」『琉大法学』44 号

- 1989 年 3 月 「中国：混沌の中の体制改革」『アジア研究』第 35 巻 3 号
- 1988 年 10 月 「現地で見た中国の改革と開放」『中国研究月報』488 号
- 1988 年 2 月 「中国政治体制改革への挑戦」『国際問題』No. 335
- 1987 年 3 月 「文化大革命への問い：北京で読む日本の文革論」『季刊中国研究』6 号
- 1986 年 9 月 「中国革命史研究と基層幹部再考—田中恭子氏の批判にこたえる」『歴史学研究』第 558 号
- 1983 年 9 月 「中国基層幹部の政治動態—内戦期における陝寧地域・晋冀魯予地域の比較考察」『琉大法学』33 号
- 1982 年 9 月 「中国政治変動の諸環境—内戦期前の陝日寧地域・晋冀魯予地域の比較考察」『琉大法学』31 号
- 1982 年 7 月 「中国の政治指導システムと基層幹部—特に 1940 年代を中心として」『アジア研究』第 29 巻 2 号
- 1982 年 3 月 「整党運動の政治過程—第三次国内戦争期を対象として」『琉大法学』30 号
- 1980 年 12 月 「中国政治における大衆参加—1953～1959 年の『人民日報』投書欄分析を中心として」『アジア経済』21(12)
- 1979 年 3 月 「整党運動一九四八年：『人民内部の矛盾を処理する』実践の原点」『一橋論叢』81(3)
- 1978 年 4 月 「中国農村革命における基層幹部の政治動態—第三次国内戦争期の実態的考察」『アジア研究』第 25 巻 1 号
- 1977 年 9 月 「統一と抗争の論理：抗日民族統一戦線における毛沢東の発想」『一橋論叢』78(3)
- 1976 年 11 月 「瑞金時代に関する一考察—農村革命の展開と土地革命政策をめぐる党内闘争」『社会経済史学』42(3)
- 1976 年 6 月 「土地革命と毛沢東：1929～30 年赤色根拠地における土地闘争を中心として」『一橋研究』1(1)
- 1975 年 12 月 「毛沢東の社会勢力分析に関する特質：特に 1920 年代後半の資料による」『一橋研究』30 号

9. 書 評（朝日新聞：読書）

- 2010 年 3 月 28 日 『グローバル中国への道程』 川島真・毛里和子 [著] 『高まる生活リスク』 飯島渉・澤田ゆかり [著]
- 2010 年 3 月 7 日 『趙紫陽 極秘回想録』 趙紫陽, バオ・プーほか [著]
- 2010 年 2 月 14 日 『インドのことはインド人に聞け!』『ガンディーからの〈問い〉』 中島岳志 [著]
- 2010 年 1 月 17 日 『天安門事件から「08 憲章」へ』 劉曉波 [著]
- 2009 年 12 月 27 日 『天児慧 書評委員お薦め「今年の 3 点」』
- 2009 年 12 月 13 日 『チャイナ・アズ・ナンバーワン』 関志雄 [著]
- 2009 年 11 月 29 日 『発禁「中国農民調査」抹殺裁判』 陳桂棣・春桃 [著]
- 2009 年 11 月 1 日 『貧者を喰らう国 中国格差社会からの警告』 阿古智子 [著]

- 2009年10月25日 『タイ 中進国の模索』 末廣昭 [著]
- 2009年10月4日 『1968 [上]』『1968 [下]』 小熊英二 [著]
- 2009年9月20日 『林彪春秋』 姫田光義 [著]
- 2009年8月23日 『中国文化大革命の大宣伝 上・下』 草森紳一 [著]
- 2009年7月19日 『加藤周一 戦後を語る (加藤周一講演集)』 加藤周一 [著]
- 2009年6月14日 『中国経済最新レポート 米金融危機が中国を変革する』 真家陽一 [著]
- 2009年5月24日 『中国は民主主義に向かう』 俞可平 [著]
- 『近代中国における連邦主義思想』 劉迪 [著]
- 2009年4月26日 『日台関係史 1945—2008』 川島真・清水麗・松田康博・楊永明 [著]
- 2009年4月12日 『中国の水環境問題』 中尾正義 [著]
- 2009年3月8日 『歴史と外交 靖国・アジア・東京裁判』 東郷和彦 [著]
- 2009年2月22日 『日米同盟の静かなる危機』 ケント・カルダー, 渡辺将人 [著]
- 2009年1月25日 『資本主義はなぜ自壊したのか』 中谷巖 [著]
- 2009年1月4日 『奔流中国 21』 朝日新聞社 [著]
- 2008年12月21日 『天児慧 書評委員お薦め「今年の3点」』
- 2008年12月21日 『日本と中国 相互誤解の構造』 王敏 [著]
- 2008年11月8日 『五十時間の対話』 井尻秀憲 [著]
- 2008年10月25日 『中国 静かなる革命』 呉軍華 [著]
- 2008年10月5日 『変わる中国 変わるメディア』 渡辺浩平 [著]
- 2008年9月28日 『上海版歴史教科書の「扼殺」』 佐藤公彦 [著]
- 『歴史の交差点に立って』 孫歌 [著]
- 2008年9月21日 『中国臓器市場』 城山英己 [著]
- 2008年8月24日 『アジア三国志』 ビル・エモット [著]
- 2008年8月10日 『瀾滄江怒江』 黄光成 [著]
- 2008年7月27日 『不平等国家 中国』 園田茂人 [著]
- 2008年6月22日 『幻想の帝国—中国の声なき声』 ギ・ソルマン [著]
- 『中国低層放談録 インタビュー どん底の世界』 廖亦武 [著]
- 2008年6月8日 『新華僑 老華僑—変容する日本の中国人社会』 譚璐美, 劉傑 [著]
- 『日中「アジア・トップ」への条件』 莫邦富 [著]
- 2008年5月18日 『台湾外省人の現在—変容する国家とそのアイデンティティ』 ステファン・コルキュフ [著]
- 2008年4月27日 『中国動漫新人類』 遠藤誉 [著]
- 2008年4月13日 『中国 危うい超大国』 スーザン・シャーク [著]

10. その他（雑誌・事典等）

- 2014年11月 「日中首脳会談 大国意識強める指導部 早期の関係修復は困難」『週刊エコノミスト』
- 2014年8月 「中国はどこへゆく」『ワセダアジアレビュー』 16号

- 2012年10月 「いま世界で変わりゆく中国：胡錦濤時代から習近平時代へ」『婦人之友』
- 2011年12月 「日中『もろい関係』の再考と改善に役立つ本」『週刊エコノミスト』
- 2011年 1月 「いま世界で日中関係の未来を拓く」『婦人之友』
- 2010年 3月 「中国の真意 東アジア統合のドライバー 深まる相互依存と対立の構造」『週刊エコノミスト』
- 2009年 5月 「中国置き去りにされた政治改革 成長と引き換えの格差」『週刊エコノミスト』
- 2008年11月4日 「金融危機で吹っ飛んだのか？あの『中国崩壊論』」『QUICK エコノミスト情報』
- 2008年10月 “What will become of China after the Olympics?” *AJISS-Commentary The Association of Japanese Institutes of Strategic Studies* No. 45. 2
- 2008年10月 「民衆の不満噴出を抑えるべく民主主義の限定的導入を図る」『週刊ダイヤモンド』
- 2008年 9月 「新たな政治システムを模索する中国の行方」『週刊ダイヤモンド』
- 2008年 9月 「矛盾と不安を抱える五輪後の中国」『週刊エコノミスト』
- 2008年 9月 「格差拡大ならポスト胡錦濤レースに異変」『サンデー毎日』
- 2008年 8月 「‘挑戦者’ から‘協調’ へ 多元化する中国外交への視座」『論座』8月号
- 2008年 8月 「AHC（アジア・ヒューマン・コミュニティ）研究所の創設にあたって」『ワセダアジアレビュー』4号
- 2008年 4月 「責任ある尊敬される大国への道」『J+C ECONOMIC JOURNAL』5月号
- 2008年 1月 「グローバル COE アジア統合を目指す人材育成拠点形成―獲得の奮戦と膨らむ「夢」の実現に向けて」『ワセダアジアレビュー』3号
- 2007年12月 巻頭インタビュー「世界こそが中国を変える」『選択』
- 2007年11月 「台頭する中国の新しい世界戦略」『Imidas SPECIAL 時事 & トレンド解体新書』
- 2007年 8月 「変貌する中国と日中協力」『経済 Trend』
- 2007年 4月 「討論会 安倍政権のアジア外交を斬る！」『ワセダアジアレビュー』
- 2006年 9月 靖国問題で孤立する日本」『潮』
- 2006年 「台頭中国の外交戦略」『ブリタニカ国際年鑑』
- 2006年 8月 「大国化戦略の光と影」『中国年鑑』
- 2006年 1月 「『マオ―誰も知らなかった毛沢東』の読み方」『現代』
- 2005年 8月 「中国への視点と日中関係―活路は国際協調と相互依存」『りそな一丸』
- 2004年12月 「歴史を描くことの面白さと怖さ」『本』
- 2004年10月 「引退 江沢民から胡錦濤時代へ 腐敗、貧困、環境…難問山積」『週刊エコノミスト』
- 2004年10月 「変化する中国人の対日感情 新しい関係を切り開く好機」『論座』
- 2002年12月 「世界の工場・中国のジレンマ」『週刊エコノミスト』
- 2002年10月 「中国は本当に脅威か」『潮』
- 2001年11月 「発展し続ける中国といかにして付き合うか」『週刊エコノミスト』
- 2001年 4月 「中国の大国化は、国際社会に脅威をもたらすのでしょうか？」『世界』
- 1999年12月 「カラーグラビア 大学ゼミ訪問（12）青山学院大学・天児慧ゼミ」『外交フォーラ』

ム』

- 1998年 5月 「試練に挑む中国新指導体制」『世界』
- 1997年 7月 「鄧小平後の中国の政治経済と社会」『国際文化研修』
- 1997年 4月 「中国近現代史のなかの鄧小平」『世界』
- 1997年 3月 「政治 江沢民への挑戦者はいないが、政権の試練は続く」『週刊エコノミスト』
- 1996年 11月 「アメリカ発中国情報に注目せよ」『論争東洋経済』
- 1996年 1月 「96年中国の動向—最後のイデオロギ『愛国主義』の次に来るもの」『週刊エコノミスト』
- 1994年 8月 「『カスケド型権威主義』の可能性—鄧小平最後の布石としての北京・上海枢軸」『世界』
- 1993年 3月 5日 「座談会 経済改革の体制固めはどう進む」『世界週報』
- 1991年 7月 「新たなリンケージを探る中国」『世界』
- 1991年 6月 「対米脅威下の中国の“賭け”」『経済往来』
- 1990年 5月 「中国民主化運動は再び息をふき返す—変わる中国と変わらぬ中国の間で」『週刊エコノミスト』
- 1989年 7月 「中国民主化の画期—新・社会主義民主に向けて」『世界』
- 1991年 7月 「新たなリンケージを探る中国—天安門・冷戦後の中国外交の新展開と内政」『世界』
- 1988年 7月 「日中関係—戦後世代からの提言—ある中国青年への手紙」『世界』

11. 基調講演・招待講演等

- 2015年 6月 4日 基調講演：「Expanding China, Changing Structure of politics and economics in Asia Pacific, and Taiwan」Taiwan National Cheng Chi University
- 2015年 3月 4日 講演：「Chinese Foreign Policy & Sino-Japan Relations under Xi Jinping」The Center for Contemporary China Studies, U.C San Diego
- 2014年 9月 8日 講演：「Chinese Foreign Policy and Japan-China Relations under Xi Jinping, Institute of China Global Research Center」Australia National University
- 2008年 11月 29日 基調講演：「China & Its Neighbours——“China’s Foreign Strategy”」GASR (Grants-in-Aid for Scientific Research) International Conference, India International Centre Annexe, New Delhi
- 2008年 11月 1日 基調講演：「日中国交から東アジア共同体へ」国際アジア共同体学会 愛知大学
- 2008年 10月 30日 パネリスト：「岐路に立つ日中関係」専修大学政策科学シンポジウム 専修大学
- 2008年 10月 17日 基調講演：「日中両雄は並び立つか——国際構造・国内政治・相互認識」国際ワークショップ 早稲田大学

- 2008 年 9 月 29 日 学術講演：「What perspective should we have to China after Beijing Olympic Games?」韓国・高麗大学
- 2008 年 9 月 19 日 ゲスト講演：「北京オリンピック後の中国と日中関係」経済団体連合会第 429 回会員昼食会 経団連
- 2008 年 9 月 14 日 パネリスト：「日中関係の過去・現在・未来—東アジア地域協力を展望して」日中国交正常化提言 40 周年記念シンポジウム 創価大学
- 2008 年 9 月 10 日 シンポジウムパネリスト：「新時代の日中関係—その展望と課題—」(財)世界平和研究所 ANA インターコンチネンタルホテル東京
- 2008 年 2 月 15 日 講演：「最近の中国動向と今後の展望」世界平和研究所
- 2008 年 1 月 17 日 基調講演：国際シンポジウム：「アジア協力・統合と人材育成」主催：早稲田大学グローバル COE プログラム「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点」早稲田大学国際会議場
- 2008 年 1 月 10 日 招待講演：「今後のアジア情勢—台頭する中国とどう付き合うか」第 3 回市議会議員特別セミナー 全国市町村国際文化研修所
- 2007 年 11 月 16 日 報告：「中国の世界戦略と日本の対応」台湾淡江大学国際研究院・早稲田大学大学院公共経営研究科共催シンポジウム『アジア太平洋地域における日本と台湾』
- 2007 年 11 月 9 日 報告：「中国の平和的な発展と世界経済」中国外交学会主催国際シンポジウム『中国の平和的発展と調和の取れた世界』北京
- 2007 年 11 月 7 日 招待講演：「私の現代中国論・日中関係論」中国社会科学院 研究生院（大学院）
- 2007 年 9 月 招待講演：「A Northeast Asian Perspective of the Rise of China」台湾・国策研究院主催国際シンポジウム『North East Asia Security and Taiwan』
- 2007 年 8 月 招待講演：「台頭する中国をどう読むか」第 11 回アジア太平洋安全保障フォーラム 台湾財団法人・国策研究院主催
- 2007 年 7 月 パネリスト：「日・ASEAN 対話」グローバルフォーラム ASEAN 戦略国際問題研究所連合との共催
- 2006 年 10 月 招待講演：「中国をめぐる最近の東アジア情勢と韓国・日本」日韓ミレニアムシンポジウム 韓国成均館大学
- 2006 年 9 月 招待講演：「新たな段階に入った日中関係—新総理登場後の双方の思惑は何か」早稲田大学創立 125 周年記念 エクステンション講演会
- 2006 年 9 月 研究発表：「従亜洲的観点看台日安全保障」台日学術国際交流会議 亜東関係協会主催 台北
- 2005 年 11 月 基調報告：「ナショナリズム，リージョナリズム，グローバリズム—日本のナショナリズムの歴史的考察を中心に」第 2 部会 韓国・東洋政治思想学会・現代日本学会共催 『東亜細亜 3 国の自己認識，

共同認識』学術会議

- 2005 年 8 月 招待講演：「日中関係の歴史認識問題をどう考えるか」中国社会科学院近代史研究所
- 2005 年 6 月 部会報告：「2つのアプローチから考える日韓関係—国境を超える連携をどのように構築するか」韓国現代日本学会，韓国国際政治学会，日本国際政治学会共同主催『韓日国交正常化 40 周年国際学術会議』
- 2005 年 2 月 招待講演：「The Idea of New International Order China is Seeking and An East Asia Community」台湾・两岸交流基金会主催国際シンポジウム

12. 科研費研究プロジェクト

- 平成 16 年度基盤研究 (B) 「外へ向かう中国とインド：内的発展とアジアへのインパクト」2004 年-2005 年 (研究代表者：天児慧)
- 平成 12 年度基盤研究 (B) 「米中日トライアングルの新構造—天安門事件，台湾海峡危機，米中首脳交流を中心に」2000 年-2002 年 (研究代表者：天児慧)
- 平成 8 年度重点領域研究「中国政治の構造変動と地方の復権」1996 年-1998 年 (研究代表者：天児慧)